

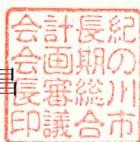


平成 30 年 3 月 8 日

紀の川市長 中村 慎司 様

紀の川市長期総合計画審議会

会長 仁藤 伸昌



第 2 次 紀の川市長期総合計画の策定について（答申）

平成 28 年 8 月 22 日付け 28 紀企画発第 144001 号で諮問のありました第 2 次 紀の川市長期総合計画の策定について、当審議会において、10 回の会議と施策 単位で合計 9 回の分科会を開催し、慎重な審議の結果、適切であると認め、下 記の意見を付して答申いたします。

なお、本計画の策定については、小中学生を含む市民意識調査や高校生及び 大学生の参画による市民ワークショップ等を開催し、市の将来を担う若者の意 見も反映されています。

今後、本計画の推進にあたっては、十分に意見を尊重いただくとともに、市 の将来像である「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」の実現 に向けて、市長のリーダーシップのもと全庁体制により、最善の努力をされる よう要望いたします。

記

1. 長期総合計画は、まちづくりの最も基本となる指針であり、本計画に掲 げる将来像を実現するため、多くの市民に周知し、計画の共有に取り組 まれたい。

また、社会情勢の変化や複雑・多様化する行政課題に対応するためにも、 市民や地域、事業者等と行政が一体となった、協働によるまちづくりを 推進されたい。

2. 人口減少を抑制し、地域活力を維持するためにも、市民の交流を促し、 地域力の向上を図りつつ、定住人口や交流人口の増加につながるよう、 本市の豊富な地域資源を活用し、市のイメージアップや郷土愛の醸成に つながる施策展開を図られたい。

3. 本計画の進行管理については、行政評価制度を活用し、市民に分かりや すい成果重視の評価により、的確に推進されたい。

また、財政状況等を考慮し、施策・事業の選択と集中を図ることにより、 効率的な市政運営に努められたい。